

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

長野県作業療法士会では、昨年度より認知症リハビリテーション推進班として活動を行っている。認知症関連の研修会において、認知症初期集中支援チームに偏らず、幅広く認知症に対応できる人材育成を目指して認知症関連の研修会を開催している。また、構想段階ではあるが、県内で認知症初期集中支援チームに携わっている作業療法士の把握をし、座談会など開けるような環境設定を考えている。

## 認知症対応人材育成事業

年に2回、認知症に関して研修会を行っている。UD研修を行うとともに、認知症に関連した研修会を開催し、人材育成を行っている。

今年度は11月に小川敬之先生（京都橘大学）を招待し、「認知症の作業療法 地域共生社会に向けた作業療法士の役割」というテーマで研修会を行う。

平成31年3月には、UD研修も行っていく予定。

## 認知症人材バンク事業

人材育成事業に参加した作業療法士を中心に人材バンクに登録してもらうことで、各自治体等からの要請依頼があった際に県士会として対応できるようにしている。（登録人数 118名）

## 市民公開講座

「しょうがいの理解と支援」という観点から、作業療法士がリハビリテーションの現場から学んだことを、市民にお伝えすることを目的に開催している。一般の方から関連職種の方々まで、多方面に案内を出している。年3回行っており、県内各地区で今年度第65回が終了した。認知症に関連した講座として「認知症の理解と支援」「事例を通して『支援』について考えませんか？～介護に活かせる作業療法の視点～」の2講座を実施しています。いずれもOTの視点を基にお話をさせてもらっています。架空の事例を設定し、身体障害領域、精神障害領域、認知症領域の各領域からみた視点について話をしました。

市民公開講座分科会の様子



## 出前講座

平成26年から出前講座を企画しており、平成30年度は「高齢者・介護・健康」「子ども・発達支援」「精神」の3分野で実施した。実施期間を年度後半に設け1～2時間を目途に人材バンク、事業部員を中心に講師を派遣している。申し込みが多いため、交通費、印刷代は受講者側で負担していただいている。

今年度の「高齢者・介護・健康」に関しては、〈1〉多職種連携について－高齢者の支援を中心に－〈2〉認知症の方に対する生活支援－意味ある作業活動について－〈3〉介護職向けの介護技術研修 〈4〉高齢者向けの健康体操 〈5〉高齢者のレクリエーション 〈6〉高齢者に対する作業の活用の6講座を企画して行っている。

平成29年度 高齢者・介護・健康  
発達支援・精神

**出前講座**のご案内

あなたの町に、職場に、小さな講座をお届けします。

自主勉強会、学習会に作業療法士を呼びませんか。

NAGANO 一般社団法人 長野県作業療法士会  
～新しい学びを共に見つめています～

## 今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修を行っていくと共に、認知症に関して幅広く対応できる人材の育成
- ・ 現在行っている事業の継続